



第6期幸区区民会議第8回専門部会 ～魅力発信でつなぐ まちの活性化部会～ 議事次第

日時 2017年6月27日(火) 18時半から

場所 幸区役所4階第4会議室

1 開会

2 議題

- (1) 現地調査結果の検証について
- (2) 発信していく地域の魅力について

3 その他

4 閉会

《配布資料》

- 資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ
- 資料2 「区内3大拠点公園」の現地調査結果
- 資料3 「子育て支援センターかんがるー、おでかけぽかぽか」の現地調査結果
- 資料4 発信していく幸区の魅力について
- 資料5 魅力発信に向けた今後の取組について

参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて

参考資料2 魅力の発信方法に関する取組例

参考資料3 第7回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)会議録

参考資料4 第6期幸区区民会議委員・参与名簿

《第8回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)獲得目標》

- ・現地調査結果の検証
- ・発信していく地域の魅力についての確認

「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ

年度	月日	会議名	会議の獲得目標	
2016年度	7月28日	第1回区民会議		
	10月5日	第1回部会	・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討	
	10月27日	第2回部会	・部会名の決定 ・今後の取組の方向性の決定	
	11月24日	第2回区民会議		
	12月15日	第3回部会	・今後の調査内容、方法の確認	
	1月31日	第4回部会	・地域資源の調査に向けた調査項目及び調査当日の役割分担等の決定	
	2月27日	第5回部会	・第5回部会までに実施した調査実施状況の振り返り ・「第3回区民会議」報告内容等の検討	
	3月21日	第3回区民会議	《調査審議状況の報告》	
2017年度	4月25日	第6回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・今後の調査についての確認①	
	5月26日 (金)	第7回部会	・地域資源の調査結果の検証② ・発信していく地域の魅力についての確認① ・今後の調査についての確認②	
	6月27日 (火)	第8回部会	・現地調査結果の検証 ・発信していく地域の魅力についての確認②	
	8月1日 (火)	第9回部会	・魅力発信に向けた方法の検討 ・実践的取組(区民祭等)に向けた情報発信内容及び方法の検討① ・「第4回区民会議」報告内容等の検討	
	9月7日 (木)	第4回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の中間報告	
	9月19日 (火)	第10回部会	・実践的取組(区民祭等)に向けた情報発信内容及び方法の検討② ・実践的取組(区民祭等)における役割分担等の決定	
	10月	第11回部会	・魅力発信の実践的取組(区民祭等)の振り返り ・提言内容の検討①	
	11月	第12回部会	・提言内容の検討②	
	12月	第13回部会	・提言内容のとりまとめ ・フォーラム実施内容の検討	
	1月	第14回部会	・「第5回区民会議」報告内容等の検討	
	2月・3月	第5回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・部会提言内容の報告、区民会議フォーラムの実施内容の確認	
			第6期幸区区民会議フォーラムの実施	
	2018年度	4月・5月	報告書のとりまとめ	
6月		区長へ報告書の提出		

「区内3大拠点公園」の現地調査結果

1 当日の調査について

- ◆日時 平成29年6月9日（金）13時30分～16時30分
- ◆場所 御幸公園 → 南河原公園 → 夢見ヶ崎公園
- ◆参加者 区民会議委員6人（阿部委員、伊藤委員、神谷委員、中原委員、成川委員、松井委員）
事務局3人（企画課：岸課長、中村職員、安藤職員）
社会空間研究所 中島氏
- ◆調査対応者 幸区役所道路公園センター整備課舞木公園整備係長^{もうぎ}
建設緑政局夢見ヶ崎動物公園岩瀬園長

2 調査の様子及び調査の振り返り

■御幸公園



<意見>

- ・今のところ、公園には何もないので人が来ないのではないか。ベンチとかあずまやなどの休憩施設程度があると良い。
- ・ただし、まだ一部工事中であることや、多摩川につながっていることもあり、将来性がある公園だと思う。
- ・御幸公園は梅が売りの公園である。梅香事業があるが、梅の季節以外どうするか、また梅に合う何かを考える必要がある。
- ・多摩川交流センターや河川敷のゴルフ場は、それなりに人がたくさん来ていた。このため、御幸公園は、多摩川と一体的に魅力を考える必要がある。

<子育て世代へ発信すべき魅力ポイント>

- ※御幸公園は、多摩川と一体と考えることを前提として、
- 梅林（梅を楽しめること）や子どももおとなも思いっきり身体が動かせる。
- 多摩川の雄大な景観を楽しむことができる。

■南河原公園



<意見>

- 南河原公園が国道の景観を良くするために、周辺の街路樹を含めて緑がたくさんあると良い。
- 遊具が充実していることや、広場があるので、子どもが思いっきり遊ぶことができる。ただし、遊具がだいぶ古いので、新しくなると良い。
- 子どもが自由に思いっきり安心して遊べる公園だと思う。
- 水景施設（噴水）が古くて中途半端である。じゃぶじゃぶ池のようなものがあると良い。
→南河原地区は水がないので、区民が水に親しめる水景施設が必要だと思う。
- 春には桜が楽しめ、花見客がたくさん集まる。
- 木陰があって、憩うことができる。

<子育て世代へ発信すべき魅力ポイント>

○子どもが自由に思いっきり安心して遊べる。

○春の桜が素晴らしいことや木陰がたくさんあり、休んだり憩うことができることから、家族で楽しむことができる。

■ 夢見ヶ崎公園



<意見>

- 夢見ヶ崎公園の来訪者で市外（鶴見区等の近隣）からが多い理由は何か。
→市外へは特にPRしていない。
→アクセスの良さ、身近さ、無料であることが要因だと思う。
- 近さ、アクセス、身近さ、無料は、来訪者を増やすためのポイントになると思う。
- 夢見ヶ崎公園は、動物園以外の魅力として、古墳、神社などの歴史的資源や広場があって思いっきり遊べることも挙げられる。
- 動物園は無料であり、家族で楽しむことができる。

<子育て世代へ発信すべき魅力ポイント>

- 動物公園は無料なうえ、さらに身近に動物を見ることができるところが魅力である。家族で楽しめる。
- 動物に関して、子どもが身近に体験することができることから、子どもの体験や学びの場として良いところである。
- 歴史的な資源が多く、幸区の歴史を学ぶことができる。
- 子どもが広場で思いっきり安心して遊ぶことができる。

「子育て支援センターかんがるー、おでかけぽかぽか」の 現地調査結果

1 当日の調査について

- ◆日時 平成29年6月13日（火）9時30分～11時30分
- ◆場所 子育て支援センターかんがるー → おでかけぽかぽか（さいわいふるさと公園）
- ◆参加者 区民会議委員5人（阿部委員（おでかけぽかぽかにて対応）、大野委員、神谷委員、佐野委員、成川委員）
事務局4人（企画課：岸課長、吉岡課長補佐、中村職員、安藤職員）
社会空間研究所 田上氏
- ◆調査対応者 子育て支援センターかんがるー 山本園長、吉永職員
夢見ヶ崎プレーパークをつくる会 阿部代表、林副代表
幸区役所保健福祉センター保育所等地域連携担当 石川課長、古川課長補佐
幸区役所保健福祉センター地域ケア推進担当 宮田職員

2 調査の様子及び調査の振り返り

■子育て支援センターかんがるー



<意見>

- ・現在7箇所ある子育て支援センターをより増やせれば区民にとってありがたい施策になる。
- ・魅力はたくさんあるが、どこまで認知されているのだろうか。おこさまっぷを読んでいる人は良いが、誰もがこれを見ているのだろうか。もう少し認知される方法があると良い。
- ・各施設で独自性が高いと思うが、総括的に感じたのは、どうやって認知度を高めるかということと、職員の質・量をいかに確保するかということの2点が重要だということである。

- 7箇所の子育て支援センターについて、それぞれの強み・弱みを把握するとよいのではないか。そうすることによって区独自の魅力が浮かび上がってくるかもしれない。
- 懸念されるのは、このような子育て支援事業そのものは幸区独自のものではなく、他都市でもやっていること。これをどのように幸区の魅力として発信していくのか。
- 古市場（単独型施設）では独自にボランティアが土日に開催し、多世代交流を行っている。こうした動きは他都市にもあまりない例で、幸区の強みだと思う。
- 幸区は地域の人たちやボランティアの子育て支援活動が特に充実しているように感じる。幸区は町内会・自治会の加入率が高いことも原因かとも思う。
- 子育て支援センターをより認知してもらうためには、町会等を通じて周知を図ることなどが重要だと思う。
- 幸区の子育て支援環境について考えたとき、一番は「人」だと思う。今日行ったかんがるーは特に職員レベルが高く、コミュニケーションがしっかりしていた。他のセンターでも、職員レベルも一定に保つため資格要件や経験要件を求めている。また、子育て支援センター7箇所間で職員による連携会議を開催しており、区内の職員レベルの底上げを図っている。
- 行政や子育て支援センター、子育て関係のボランティア等の連携など、人と人とのつながりがしっかりしている。

<子育て世代へ発信すべき魅力ポイント>

- 各センターで独自性を持った取組が展開されている。
- 地域住民やボランティアの協力により恵まれた子育て支援環境が整っている。
- 子育て支援にかかわる職員、地域住民、ボランティア等のつながりが強い。
- 子育て支援にかかわる職員のレベルが高く保たれている。
- このため、幸区内ではどこでも安定して高いサービスを受けることができる。

■おでかけぽかぽか（さいわいふるさと公園）



<意見>

- さいわいふるさと公園には緑が多く自然に触れられるという魅力がある。しかしおでかけぽかぽかの参加人数を聞くと、あまり参加者が来ていないようだ。あまり知られていないのではないか。
- おでかけぽかぽかは幸区だけの取組か。乳幼児の自由な外遊びを支援するイベントは他ではあまりないのではないか。
- 社会的でなく、普段あまり外出しない母親にも来てもらうような魅力があるとよい。
- 大きな公園にわざわざ行かなくても、地域の公園で集まって、交流することができるのはいいと思う。
- もともとはこどもの遊びを通じ、お母さん同士があつまって始まった取組。子育て世代の仲間が集まれる場は大切だと思う。

<子育て世代へ発信すべき魅力ポイント>

- 他区ではあまりない、乳幼児の自由な外遊びを支援するイベントである
- 地域の公園による、ご近所の子育て世代同士の交流ができる
- 地域住民発の取組である

発信していく幸区の魅力について

1. 前回のふりかえり

(1) 前回出された意見のポイントになりそうな部分

- ・この部会としては、区の魅力を横串をさすというか、実際利用される方にとって、もっと活用できる方法はないかを探ることであって、一個一個をブラッシュアップして検討するという事ではなかったと思う。
- ・幸区の子育て支援は、皆さんが温かい環境で支援をやっていることが分かった。地域の町内会やボランティアの人が子育てで広場にはいって、手伝ってくれる人が沢山いるという環境の方が若い人にとって魅力。
- ・「公園が充実している」には、みんなが集まって仲間ができる、子ども大人も思いっきり遊べる、安全安心に遊べる、とか。「子育て支援」には、身近に子育て支援センターがあり、相談できる、おこさまっぷを代表に充実した子育て情報を得ることができる、子育てを手伝ってくれる人が沢山いるなどが魅力である。また西口三点セットという最新のものもそろっている。
- ・公園はいいところだが、それ以上に人情というのが特徴的なよさだと感じるので、安心して住んでいられるよ、ご近所さんがとてもいいところだよというのがプラスになるのではないかと。

(2) 発信すべき幸区の魅力について（幸区ってこんなまち）

- ・アンケートや、区の子育て施策についてのヒアリング、現地調査等を踏まえ、これまでの部会で出された幸区の魅力は、以下のとおりです。

充実した子育て環境と支援、文化・商業が身近にある最幸のまち・幸

■子どもおとなも、動物や自然にふれあったり、思いっきり遊べるまち幸

○幸区には、特徴的で大きな3大公園があり、そこではたくさんの親子連れが思いっきり遊んでいます。

○公園では、動物とふれあったり、思いっきり身体を動かしたり、多摩川の景色を楽しんだりできます。

○また、毎年春先になると、梅を楽しむことができます。

○さらに、市民グループが実施しているプレーパークもあり、市民と行政の協働で思いっきり遊べる場所をつくっています。

○幸区には、親子で楽しめたり、思いっきり身体を動かせる環境が揃っています。

横串

■子育て支援が充実したまち幸

○幸区では、子育て支援に力を入れています。いつでも子育てについて相談できる子育てセンターが区内各所にあります。また、こども文化センターでも子育て相談があることや、子育て世代の方々とお会いすることができます。このため、区内ではどこでも安定して高いサービスを受けることができます。その上で、各センターで独自性を持った取り組みが展開されています。

○さらに、子育て支援に関わる職員のレベルが高く保たれています。

○おこさまっぷを代表とする子育て情報発信が充実しています。

○合わせて、子育てを助け合う風潮があります。

横串

■文化と商業が充実したまち幸

○幸区には、ミュージアム川崎のような一流の音楽を鑑賞できる施設や、東芝科学館や慶応大学K2キャンパスの子ども向けイベントなど、一流の文化や科学にふれあえる場が身近にあります。このため、子どもの情操教育に良いことや子どもの好奇心を掻きたてます。

○また、大型の商業施設も充実しており、生活の利便性が非常に高いまちです。

2. 魅力の要素分解

- ・上記で示した幸区の魅力を、これまでの部会やアンケート、視察で出された意見を基にして、要素分解します。
- ・今回の対象としている区内の子育て世代には、魅力の要素の部分について知ってもらうことが重要だと考えます。（魅力の部分発信する）
- ・幸区区民会議における取組であることから、発信する魅力としては、①市民主体もしくは市民と行政の協働により発信等が可能なもの②特定の地域、団体、個人に偏らず、多くの区民にかかわるもの③幸区独自のものや、特徴的なもの④地域住民による活動等、行政による広報などが不十分であるもの 等であることがポイントとなると思います。

魅力	魅力の要素（発信すべき魅力）	魅力に関する課題
子育て環境	<p>■アンケートや部会で出された意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>無料で身近に動物を見ることができる公園がある。</u> ・<u>広くておもいきり遊べる公園がある。</u> ・充実した遊具が無料で遊べる。 ・楽しいイベントが公園内で開催される。無料で参加できる。 ・子どもおとなも思いっきり遊べる公園が多い。 ・公園にはたくさんの人が集まっていて、仲間ができる。 ・区内の公園は、安全に安心して思いっきり遊べる。 <p>■公園の視察で出された意見</p> <p><御幸公園> ※御幸公園は、多摩川と一体と考えることを前提として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>梅林（梅を楽しむこと）</u>や子どもおとなも思いっきり身体が動かせる。 ・<u>多摩川の雄大な景観を楽しむことができる。</u> <p><南河原公園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>子どもが自由に思いっきり安心して遊べる。</u> ・<u>春の桜がすばらしいこと</u>や木陰がたくさんあり、休んだり憩うことができることから、家族で楽しむことができる。 <p><夢見ヶ崎公園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物公園は無料なうえ、さらに身近に動物を見ることができるところが魅力である。家族で楽しめる。 ・<u>動物に関して、子どもが身近に体験することができることから、子どもの体験や学びの場として良いところである。</u> ・<u>歴史的な資源が多く、幸区の歴史を学ぶことができる。</u> ・子どもが広場で思いっきり安心して遊ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園でたくさんのイベントが開催されているが、あまり知られていない。 ・3大公園は充実しているが、街区公園（身近な小さい公園）については、もっと魅力的にする必要がある。 ・3大公園をまわるコミュニティバスがあれば、公園利用者がもっと増えると思う。 <p><御幸公園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、公園には何もないので人が来ないのではないかと。ベンチとかあずまやなどの休憩施設程度があると良い。 ・ただし、まだ一部工事中であることや、多摩川につながっていることもあり、将来性がある公園だと思う。 ・御幸公園は梅が売りの公園である。梅香事業があるが、梅の季節以外どうするか、また梅に合う何かを考える必要がある。 <p><南河原公園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南河原公園が国道の景観を良くするために、周辺の街路樹を含めて緑がたくさんあると良い。 ・遊具が充実していることや、広場があるので、子どもが思いっきり遊ぶことができる。ただし、遊具がだいぶ古いので、新しくなると良い。 ・水景施設（噴水）が古くて中途半端である。じゃぶじゃぶ池のようなものがあると良い。 <p><南河原公園></p> <ul style="list-style-type: none"> ・売店などがもっと充実（たとえばカフェがあるなど）していると、人がたくさん訪れると思う。 ・公園の駐車スペースが少ない。

魅力	魅力の要素（発信すべき魅力）	魅力に関する課題
子育て支援	<p>■アンケートや部会で出された意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターが充実しており、子育てについて相談しやすい。 子育てセンターやこども文化センターで、同世代の子どもを持つ親同士の交流が生まれる。 おこさまっぶのような充実した子育て情報を得ることができる。 子育て支援センター、こども文化センターは、広くて使いやすい。おもちゃなども充実している。 <u>幸区の子育て支援は、地域の皆さんが温かい環境で支援をやっている。手伝ってくれる地域の町内会やボランティアの人が沢山いるという環境が魅力。</u> 区の子育て施策が充実している。 <u>独自にボランティアが土日に関所し、多世代交流を行っている。</u>こうした動きは他都市にもあまりない例で、幸区の強みだと思う。<u>休日だと父親も行けるのでよいと思う</u>（子育て支援センターふるいちば） <p>■子育て支援関連の視察で出された意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援に関わる職員のレベルが高く保たれている。 このため、幸区内ではどこでも安定して高いサービスを受けることができる。 その上で、各センターで独自性を持った取り組みが展開されている。 <u>子育て支援にかかわる職員、地域住民、ボランティア等の人と人とのつながりが強い。</u> <u>地域住民やボランティアの協力により恵まれた子育て支援環境が整っている。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> おこさまっぶがあまり知られていない。 現在7箇所ある子育て支援センターをより増やせれば区民にとってありがたい施策になる。 社会的でなく、普段あまり外出しない母親にも来てもらうような魅力があるとよい。 さいわいふるさと公園には緑が多く自然に触れられるという魅力がある。しかしおでかけほかほかにはあまり参加者が来ていないようだ。あまり知られていないのではないか。
文化・商業	<p>■アンケートや部会で出された意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ラゾーナ、東芝科学館、ミュージア川崎など、商業・文化施設が充実している。 子連れでオーケストラなどを文化的なものを楽しむことができる。 ラゾーナ等で、ミニコンサートを楽しむことができる。 子供用品やその他何でもそろっている。 ペDESTリアンデッキなどの整備が充実しており、ベビーカーでの散歩や買い物がしやすい。 新川崎操車場でいろいろな電車が見られ、電車好きの子どもが喜ぶ。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 慶応大学K2タウンキャンパスで毎年開催される「科学とあそぶ幸せな1日」が子どもの体験の場として良い。 	

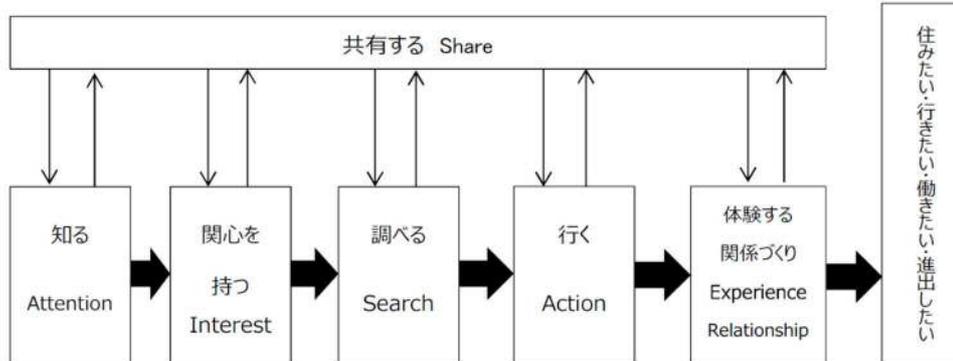
<参考：区民会議の絞り込みのポイント>

項目	内容
■協働による取組の可能性	○課題の解決に際して、区民の参加や協働による取組が可能か。
■区民の主体性	○区民による主体的な取組が可能か。
■実現性	○区民会議で調査・審議し、具体的な解決策が見出せる課題か。
■緊急性	○速やかに解決を図らないと区民の生活に支障が生じることが予想できる課題か。
■必要性	○区民の関心が高く、区民の多くがその実現を望んでいる課題か。
■公平性	○特定の地域、グループ、個人の利益に偏ることがなく、多くの区民に関わる課題か。

1 これまで実施した調査

- ・子育て世代へのアンケート調査及びヒアリング調査
- ・子育て関係施設、イベント及び公園への現地調査

2 魅力発信のための取組について



魅力を効果的に発信するための手法としては

- ①知られていない幸区独自の魅力や特徴的な魅力などについて知ってもらうための取組
- ②存在自体は広く知られているものの、十分に魅力が伝わっていない場所等について、関心を持ってもらうための取組などが考えられます。

取組例

- ・人が多く集まる行事等でのイベント実施（区民祭等で子どもを対象とした幸区の魅力に関するクイズの実施など）
 - ・魅力的・特徴的な場所・取組等に関する展示や発表
 - ・魅力に関するチラシ、冊子などの作製
- （区の魅力を知ってもらうことに特化したもの、子育て支援等に関する特徴的な魅力に特化したもの、おじいちゃん・おばあちゃん世代やお父さんを対象としたもの等）

3 今後の調査等について

（1）発信すべき魅力（What・何を）についての調査

- ・地域の子育てに関する団体等への現地調査
- ・地域の子育てに携わる活動をしている方等をお呼びしてのヒアリング

（2）発信方法（How・どのように）についての調査

- ・事務局、コンサルによる発信方法の事例収集
（例：今回の審議で出てきたアイデアを実践している先行事例）
- ・その他、発信方法を検討、実践するにあたって必要となるもの

魅力発信のための取組内容	今後の調査等
(意見交換メモ)	(意見交換メモ)

参考 現地調査先候補（地域の子育てに関する団体等）

・ **あっぷる** 7月6日（木）10：00～12：00開催

戸手本町、オーベルグランディオ在住の子育て中の方を対象とした子育てサークル。東京電力御幸変電所会議室にて開催。

・ **新川崎 赤ちゃんのわ！** 7月11日（火）10：30～開催

新川崎に立地するマンション在住の0歳児の赤ちゃんと親のための子育てサークル。

・ **子育て支援センターふるいちば** 土曜開所日⇒7月15日9：00～16：00

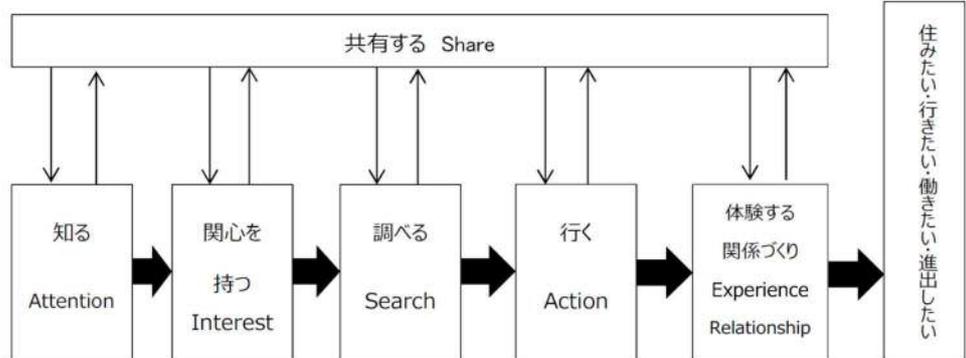
ボランティアや民生委員主任児童委員の協力で、毎月第3土曜日に開所するなど、地域の方に支えられている。

・ **ひろばであそぼう（幸市民館日吉分館にて開催）** 7月20日（木）10：00～11：30開催

日吉地区の公営保育園の保育士、ボランティアが関わっていて、遊びだけではなく、ちょっとした相談にも乗ってもらえる。

魅力の発信方法に関する取組例

流山ウエルカムガイド（千葉県流山市）

<p>概要</p>	<p>流山をよく知らない、なかなかイメージが湧かないという人に向けたパンフレット。本市の様々な魅力が読みやすく紹介されている。</p> 
<p>URL</p>	<p>http://www.city.nagareyama.chiba.jp/appeal/001838.html (冊子のダウンロード) http://www.city.nagareyama.chiba.jp/dbps_data/material/files/000/000/001/838/w-h28.pdf</p>
<p>発信する魅力 (What)</p>	<p>市内の様々な魅力 (交通アクセスから、子育て・教育、住環境まで)</p>
<p>発信方法 (How)</p>	<p>パンフレット配布 (窓口等配布及びHPでのデータダウンロード)</p>
<p>ポイント</p>	<p>○市民目線に留意した、読みやすく、親しみやすいデザインとしている。</p> <p>○「おこさまっぷ」は情報量が多く、内容が非常に充実していることから、内容に「興味」を持った人がより詳細について「調べる」ために用いることが適しているものと考えられる。一方、本冊子は読みやすさに主眼を置き、流山市を「知ってもらう」または「興味を持ってもらう」ための、言わば導入編となっている。</p> <p>(より詳細な魅力等はHPから得られるようになっている。)</p> 

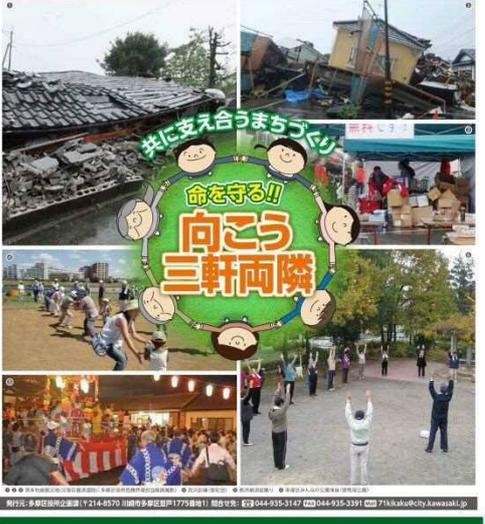
はむらぐらし（東京都羽村市）

<p>概要</p>	<p>市民記者が、はむらにある様々な魅力取材して発信するウェブマガジン。(羽村市公式 PR サイト)</p> 
<p>URL</p>	<p>http://www.hamuracity.jp/column/index.html</p>
<p>発信する魅力 (What)</p>	<p>はむらにある様々な魅力</p>
<p>発信方法 (How)</p>	<p>特設サイトにてインターネット配信</p>
<p>ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政によって用意されたプラットフォームにおける、市民自らによる魅力の発信(市民と行政の協働) ○市民ライターによる魅力発信の例はほか多数。 例：たま発！（東京都多摩地域、倶楽部会員による発信がある。）、まきまき花巻（岩手県花巻市）、大好き！やましな魅力発信プラットフォーム（京都市山科区）、下呂スタイル魅力発信プロジェクト「POKA POKA」（岐阜県下呂市） ○また、行政のHPに市民が自分たちの活動や地域の魅力を投稿する仕組みも。 例：栃木県真岡市、長野県大町市

湘南平魅力発信イベント「愛ラブ湘南平」(神奈川県平塚市)

<p>概要</p>	<p>森に囲まれ眺望豊かな湘南平と、その周辺の貴重な森林地帯を、「後世に残すべき平塚の宝物」と捉え、この魅力を発信していくことを目的とした市民団体主催の湘南平魅力発信イベント</p> 
<p>URL</p>	<p>http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kanko/page-c_02863.html</p>
<p>発信する魅力 (What)</p>	<p>森に囲まれ眺望豊かな湘南平と、その周辺の貴重な森林地帯</p>
<p>発信方法 (How)</p>	<p>イベントの開催による周知</p>
<p>ポイント</p>	<p>○イベントの開催による周知</p>

【参考】多摩区だより～共に支え合うまちづくり 命を守る向こう三軒両隣～(多摩区)

<p>概要</p>	<p>第5期多摩区区民会議からの提言を受け、発行した冊子。いざというときに、助け、助けられる「近助」の関係の大切さと、その関係づくりのための日頃からの「近所」付き合いの重要性について伝えるとともに、「近助」と「近所が地域包括ケアシステムの重要な柱の1つである「互助」にもつながるものとして、地域包括ケアシステムに係る多摩区での取組についても紹介している。</p> <p>【主な内容】</p> <p>第1面：命を守る 向こう三軒両隣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両隣とは ・熊本地震被災地、多摩区の地域活動写真 <p>第2面：近くと助けが命をつなぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害事例に基づく「近助」の大切さ ・災害お役立ちコーナー <p>第3面：近所でつながりまちの絆をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会・自治会のご近所活動 ・その他の地域活動紹介 <p>第4面：互助 地域包括ケアシステムの大切な柱の1つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムとは ・地域包括ケアシステムづくりに必要な4つの柱 ・多摩区で始まった活動事例 	 
<p>URL</p>	<p>http://www.city.kawasaki.jp/tama/page/0000085082.html</p>	
<p>発信する魅力 (What)</p>	<p>(×魅力)</p> <p>いざというときに、助け、助けられる「近助」の関係の大切さ 日頃からの「近所」付き合いの重要性 地域包括ケアシステムに係る多摩区での取組</p>	
<p>発信方法 (How)</p>	<p>冊子の全戸配布及びこれから転入する人への窓口配布</p>	
<p>ポイント</p>	<p>○区民会議の提言により発行された冊子。 ○区民全戸への配布を実現しており、多くの人に「知る」または「関心を持つ」ための機会を提供している。(HP掲載や区役所での配布などのように、能動的に情報を取得してもらうのではなく、受動的に取得できるため、多くの人目に止まりやすい。)</p>	

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第7回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）
日 時	平成29年5月26日（金） 18：30～20：00
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民会議委員（50音順） 阿部稔子委員（副部会長）、伊藤善通委員、神谷修委員（部会長）、高橋希委員、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長） ● 事務局 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、中村職員 保健福祉センター保育所等・地域連携 石川課長、古川課長補佐 保健福祉センター地域ケア推進担当 野村課長補佐 (株) 社会空間研究所 中島氏、田上氏
欠席者	大野勝彦委員、佐野禎彦委員
傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ ● 資料2 子育て世帯等に対する、幸区の魅力に係るアンケート調査結果 ● 資料3 アンケート結果及び発信する魅力の確認について ● 資料4 魅力の発信方法について ● 資料5-1 今後の調査について ● 資料5-2 現地調査日程案 ● 参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて ● 参考資料2 第6回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録 ● 参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿
議 題	<p>(1) 地域資源の調査結果の検証及び発信していく地域の魅力についての確認</p> <p>(2) 今後の調査方法及び調査先についての確認</p>

<p>決定事項</p>	<p>(1) 地域資源の調査結果の検証及び発信していく地域の魅力についての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで出た魅力の整理として、子育て環境（公園等）、子育て支援（子育て支援センター、母親クラブ等による取組）、川崎駅西口の三点セット（ラゾーナ、ミュージア、東芝未来科学館）が挙げられた。 ・より詳細な整理・取りまとめについては事務局及びコンサルタントが行う。 <p>(2) 今後の調査方法及び調査先についての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程調整を行い、6月9日については阿部委員、伊藤委員、神谷委員、中原委員、成川委員、松井委員が三大公園（夢見ヶ崎動物公園、南河原公園、御幸公園）を調査することとなった。 ・6月13日については阿部委員、神谷委員、成川委員が地域子育て支援センターかんがるー及びさいわいふるさと公園において「おでかけぽかぽか」を調査することとなった。（阿部委員はさいわいふるさと公園のみ）
<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p>(1) 地域資源の調査結果の検証及び発信していく地域の魅力についての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局より資料1から資料3について説明した。 ○ 今まで出た魅力の整理として、子育て環境（公園等）、子育て支援（子育て支援センター、母親クラブ等による取組）、川崎駅西口の三点セット（ラゾーナ、ミュージア、東芝未来科学館）が挙げられた。 ○ より詳細な整理・取りまとめについては事務局及びコンサルタントが行う。 <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的には公園、緑地を今後どうやって整備していくか、幸区内の30代40代の子育て世代により良い情報発信していくというよりは、子育て支援策をどうやって体系的に皆の手元に、どういう方法で伝達していくところだろうと思う。 ・資料3の所のポイントというのがあって、目的とターゲットのところで議論になるのは、幸区に住み続けてもらうために区内在住の人、それが口コミで区外に広まるという事だが、もうちょっとソフトに区内に絞らず、隣接する川崎区などに広げてもいいと思う。メインターゲットは区内でいい。2ページ目のアンケート結果の整理の所で、公園、緑地が一番高い評価を受けたのは間違いない、それはわかっている。それ以外にも子育て支援、環境の整備、レジャーなども同じ様に、2番目3番目の魅力である。一つだけに整理するのは間違っている。次のステップ3の所、前回の部会の所で公園の魅力以外も書いてある。三つ程度に絞ってある程度考えをまとめていかないといけない時期ではないか。この後どこに調査に行くかもおのずと決まってくると思うし、どういう観点で見るとか、ある程度認識を整理したうえでが良いと思う。 ・やることは決まっていて、公園に人をいかに呼びこむかと、子どもを当て

にしてやってくる中で、おこさまっぷ、これはとても良く出来ているが、市民全員に配るとなったら莫大な費用になる。

⇒ 毎年 6,000 部刷っている。

- 6,000 部じゃ足りない。町内会で回覧をまわすときにも 7,000 部程度刷っている。どこで、何をやっているかというのは非常に興味があるので、これが伝われば幸区は良いところだと分かり、人が集まってくる。あとは、どのように発信するかという所に絞って行けばこれについてはほぼ完璧ではないかと思う。
- 公園については、3 か所自分で見てきたが、一つ言えるのは交通の便が悪く、駐車場が少ない。

御幸公園に行っても駐車場が、精々 5 台くらいで、しかもあそこは野球をやる人がメインで、一般の人は停められないし、私は御幸に住んでいるので御幸公園にどうしたら人を呼べるかなと思って見に行った。近くに多摩川交流センターという施設が出来て、サイクリングで来た人や、ゴルフの受付があるのでその人たちが休んだりしていて満席だった。折角御幸公園の近くにあるので一つの拠点として何か活用をすれば良い。施設には川崎市の冊子も置いてあった。ただ、公園と言う名前だけで遊具がない。人を集めるにはかなり課題が多い。

南河原公園は、色々な人が集まってボール遊びをしたり自転車遊びをしたり、遊具も広場もある。公園内にこども文化センターもある。色々な年齢層が遊びに来ているので、イベントを計画すればもっと人は集まると思った。夢見ヶ崎公園は山の上で交通の便が悪い。動物を見る目的で行くのであれば良いけれど、上って、下って来るだけでも大変だと思った。

一つの提案としては話がそれるかもしれないが、コミュニティバスで川崎駅から始まって、南河原公園に寄って、御幸公園を回って、こども文化センター・市民館があるから幸区役所に寄って、鹿島田駅や新川崎駅経由で日吉出張所、夢見ヶ崎公園を回る。幸病院がやっているような循環バスで 30 分から 1 時間ぐらいで回せば結構人が集まると思う。

子どもについては「おこさまっぷ」があるので、それをいかに媒体にするかということで考えて行けばいいと思う。公園が一杯あるのは分かっても、ただ公園に行っても仕方ない。プラスアルファとなるイベントの発信をいかに繋げるかだと思う。

- 私のイメージだが、それぞれ一個ずつ魅力があるのはよくわかる。事業全体も、どの事業もいいことだというのはこれを見ればわかる。それをどうやって使っていくか、つなげていくか。前にお話しされたように、この会として横串をさすというか、実際利用される方にとって、もっと活用できる方法はないかを探ることであって、一個一個をブラッシュアップして検討するとい

う事ではなかったと思う。今の資料を見ていると、単体単体になってしまっている。ある一人の人がここを利用するときどういう風に利用するかということ想定していないのかなという感じなので、もう少し目線を変えてもらいたい。

- ・公園とか緑地をまず見学して、不備な所を発見、見出していく。それから親御さんたちは口コミによる情報伝達が多いようなので、その辺りを具体的に口コミというのはどのようにするのか。例えば子育てはおこさまっぷの所や、それぞれの単体での活動があるところに出向いて行って、こういう風な魅力あるところがありますよ、という事をPRするのもいいかなと思う。
- ・これを発信するのがこの部会、どう発信するというのは難しい。おこさまっぷだけでもとてもわかりやすいし、知らなかったのは自分だけなのかもしれないが、良いなと思って読んでしまった。これを発信、となつて考えると難しいと思った。
- ・資料3の目的とターゲットについてはこういう方向という形で、幸区内だけではなく、中原区や川崎区などの隣接区にもこういうものを出して行って、それによって少しずつ幸区に長く住み続けていただいて、それからそういう人たちの口コミその他によって幸区に人が集まってくるということがいいのではないか。公園、子育て支援やその他、今後は出かけて行って色々な話を聞きながら、先ほど話にあった様に行くのに不便や駐車場がないだとか、そういう不備な所を調べながら、それをどうやって改善していくか。改善のポイントを整理していく、それを行政に対して申し上げていくのは区民会議としての大きな役割ではないかと考えている。

社会空間研究所

「ポイントになるのは、一個一個ブラッシュアップするわけではないという話があったが、ただ公園をどうしたらいいか、子育て支援をどうしたらいいかではなかなか魅力発信が出来ないと思う。子育て世代に訴えなくてはいけないのだから、トータル的に見てこんなにいんだよという強みを出してあげないと、幸区っていいねとはいかないのではないかな。今いろいろ話を聞いていて、公園が充実していて、子育ての支援策が非常に充実している。ただそこが発信しきれないところもあると思う。あそび場があって、支援策が充実している、その二つがセットになっているのというのはなかなかないと思う。それをうまく発信できると皆の心に響いてくるかなという気はしていて、強みはあそび場があるのと支援策が充実していること、そこは並行して、二つ揃っているよという所をどんどん発信していけば、いいな幸区って思ってもらえると思う。これだけ支援策やあそび場が充実しているというのはなかなか知られていない。その二本柱があるというのは特徴かなと思う」

- ・前回も言ったが、公園の魅力度アップと子育て支援の整備、これにフォーカ

スしたらどうか。公園の事ばかり言っているから。

- ・ラゾーナとミュージアム、その辺の西口地区が商業をけん引しているのに、川崎区が落ち込んでいる。マルイは来年閉めてしまうし、さいか屋は閉まっているし、昔は東口が表だったが、今は逆に西口が表になっている。という事も合わせながら、幸区についていろんな面で住みやすくなったという話を子育て世帯に届けられたら一番いいと思う。
- ・魅力というのは具体的にどうするのか。コンサルタントがまとめた進め方に1、2、3とある。何を発信するか、どうやって発信するか、誰が発信するか。まず決めなくてはいけないのは目的とターゲット、それが決めれば、W H A Tの所ですよ。これというところ、それを整理しきれていない。

社会空間研究所

「例えばあそび場と子育て支援、それがどういう事かというのを語れば、皆がどんなことを発信したいかというのが見えてくる。今キーワード的にはこの二つが出ている」

- ・あそび場となっているが、子育て環境と子育て支援と整理した。子育て環境の大きな要素がアンケート結果から言えば公園である。子育て支援は今日来ている、施設やサービス。サービスの充実だとか、キーワードはそこだと思う。それから西口の三点セット、これは落とせないと思う。
- ・市長さんが言う最幸のまちというキーワード、そういうものを詰め込んで、その中のファクターとして子育て支援、子育て支援の一つのファクターになるのかもしれないけれど緑地とか公園、施設、という形で一つの形にしていくなのが一つのやり方だと思う。
- ・公園というのを前に出しているが、公園というのはそんなに魅力というほどではない、といったら失礼かもしれないが、それよりも落ち着いた環境というか、皆さんが温かい環境で子育て支援をやっていることが分かったので、地域の町内会やボランティアの人が子育て広場にはいって、手伝ってくれる人が沢山いるという環境の方が若い人にとって魅力。ただ公園があるという事ではなく、公園があるなら公園を綺麗にしていけばいいだけだが、そこに根付いている人情などが、そういったところ、プラスアルファがこの言葉には入っていないと思うので、公的な支援がありますという意味ではなくて、皆さん、町内会や、歴史のある母親クラブがあって、と他の区にない物があることをわかるお母さん聞けば幸区ってすごいねとなると思う。そこら辺が盛り込まれないと、言葉だけを一個ずつ並べるのだけでなく、ものが生まれていく背景まで考えていただきたいと思う。公園はいいところだが、それ以上に人情というのが特徴的だと感じるの、安心して住んでいただけるよ、ご近所さんがとてもいいところだよというのがプラスになるのではないかな。

・整理した中の安全安心というのがそうだと思う。ハートフル幸区というのが。

社会空間研究所

「公園が充実している、の中に、みんなが集まって仲間が出来ますよ、とか、子どもも大人も思いっきり遊べますよとか、安全安心に遊べますよ、とか。子育て支援については子育て支援センターなど気軽に行ける場所がありますよ、おこさまっぷで情報を入手できますよ、あとは子育てを手伝ってくれる人が沢山いますよ、など。そんな人情がある、中でも西口三点セットという最新のものもそろっている。」

・そうやっていくと幸区の魅力が広がってくると思う。

社会空間研究所

「今のところこうなっているが、もう少し深めると発信しやすくなる。そういう意味で現地調査、本来は魅力なのに発見できていないところがあると思う。もう少し具体的に言えるとか。そういう所を、現地調査を通じて発見できると皆さんが心の中から、腹の底から発信できる。」

・見落としとしていて発見できるとすれば最高だが、もう一つ足りないがためにこれじゃ、となっている要素を上げることも必要だと思う。例えばコミュニティバスを走らせるとか、施設を増やすとか。ただ行って帰ってくるだけで発信するものないじゃないか、となるよりは何が足りないか、何があったら良いか、どうしてほしいか、という所まで踏み込んだ形でないと、発見だけで立ち止まってしまうのではないか。

社会空間研究所

「もちろん課題もそれぞれあって、そこを浮き彫りにしてそれぞれ整理する必要があると思う。それもやりつつ、見落としがちな所を発見できたらいい。知っていたけれど、良い物だな、外に出した方が良かったなと思う所を現地調査でやってほしい。」

(2) 今後の調査方法及び調査先についての確認

- 事務局より資料4、資料5について説明した。
- 日程調整を行い、6月9日については阿部委員、伊藤委員、神谷委員、中原委員、成川委員、松井委員が三大公園（夢見ヶ崎動物公園、南河原公園、御幸公園）を調査することとなった。
- 6月13日については阿部委員、神谷委員、成川委員が地域子育て支援センターかんがるー及びさいわいふるさと公園において「おでかけぽかぽか」を調査することとなった。（阿部委員はさいわいふるさと公園のみ）

以上

第6期幸区区民会議委員・参与名簿

【委員(部会別、50音順)】

平成29年3月21日現在

人にやさしい交通安全部会(A部会) (安全・安心で人にやさしいまちづくり)		
審議テーマ		
○交通安全対策の推進		
氏名	推薦団体・公募・区長推薦	
1 青木 晴彦	幸区医師会	
2 阿部 法弘	幸区PTA協議会	
3 飯島 忠男	公募	
4 小野 晴子	公募	
5 金田 さとみ	幸区子ども会連合会	
6 ケオパサート ラツアミチャン	区長推薦(多文化共生)	
7 坂口 功	幸区老人クラブ連合会	
8 渋谷 多美枝	公募	
9 高橋 美三子	幸区交通安全対策協議会	
10 橋本 文夫	さいわい加瀬山の会	
11 三浦 忠一	幸区自主防災連絡協議会	

魅力発信でつなぐ まちの活性化部会(B部会) (幸区の魅力発信と地域コミュニティの活性化)		
審議テーマ		
○地域の魅力発信		
氏名	推薦団体・公募・区長推薦	
1 阿部 稔子	日吉のわっ	
2 伊藤 善通	公募	
3 大野 勝彦	幸区保護司会	
4 神谷 修	区長推薦(産業)	
5 佐野 禎彦	幸区民生委員児童委員協議会	
6 高橋 希	日吉商店街連合会	
7 中原 敏子	幸区社会福祉協議会	
8 成川 慎一	幸区町内会連合会	
9 松井 節子	幸区文化協会	

【参与(50音順)】

氏名	所属
1 小田 理恵子	かわさきしぎかいぎいん 川崎市議会議員
2 鏑木 茂哉	
3 かわの 忠正	
4 ぬまざわ かずあき 沼沢 和明	
5 のだ まさゆき 野田 雅之	
6 やまだ ますお 山田 益男	
7 わたなべ まなぶ 渡辺 学	

氏名	所属
1 市川 よし子	かながわけんぎかいぎいん 神奈川県議会議員
2 田中 徳一郎	